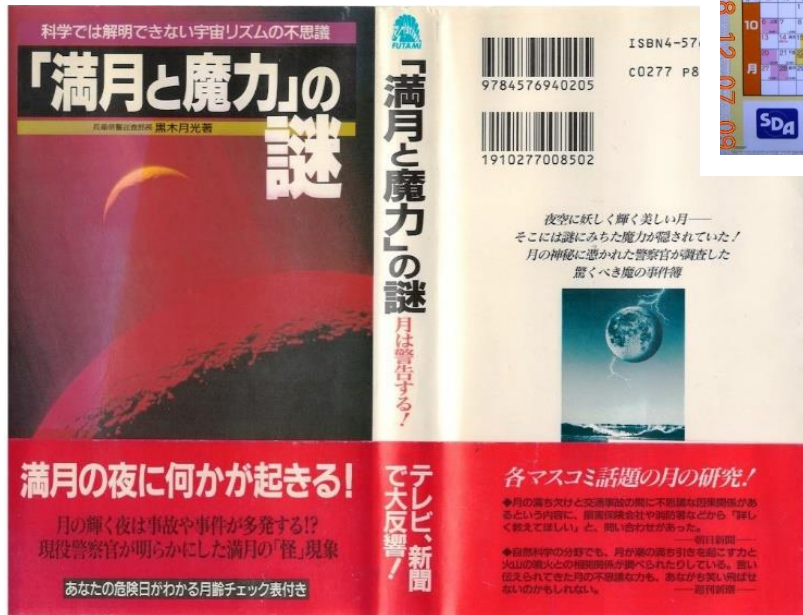


「交通事故予防カレンダー」の解説

はじめに

先日、ある会員から、SDAが毎年発行している『交通事故予防カレンダー』（写真右）について解説を求められました。そこで正確を期すため、このカレンダーを監修されている黒木月光（くろき・つきみつ）氏が平成 6（1994）年 2 月 25 日に二見書房から刊行された『「満月と魔力」の謎』の中古本（写真下）を買い求め、それを抜粋しました。図もこの本から引用しました。記録が残っていませんので詳しくは分かりませんが、SDAではこのカレンダーをどうやら平成 15（2003）年頃から発行しているようです。



■ 黒木月光氏の略歴

昭和 27（1952）年 8 月福岡県生れ。名づけ親は祖父と父で、月光（がっこう）菩薩にあやかっただもの。地元の高校を卒業後、昭和 48（1973）年 2 月に兵庫県警察官、垂水署を皮切りに兵庫県警察本部自動車警ら隊、高速道路警察隊に勤務し、昭和 63（1988）年から県警本部交通企画課事故統計係として勤務時代、この本を発表。

小学生の頃から月に関心を持っていたが、兵庫県警入り後、交通事故の現場に出向くうちに月齢と事故との関係に注目し始め、平成 4（1992）年に調査報告を発表、大きな反響を呼ぶ。平成 13（2001）年 4 月、勤務中に脳梗塞で倒れて兵庫県警を退職、同年 8 月にファットイブライフ(株)代表取締役、平成 18（2006）年 7 月、社名変更により(株)光栄メディカル代表取締役として現在に至る。

■ 人間の行動は月に支配されている

(1) 月とは

月は地球から約 384,400km 離れた軌道上を回り、 7.35×10^{22} kg (7,350 京トン) の質量を持つ地球の衛星。半径は約 1,738km で地球の 1/3 弱、質量は地球の約 1.2%、表面積は地球の 7.4%、体積は地球の 2%。公転周期は約 29.5 日で、この間、新月⇒上弦の月⇒満月⇒下弦の月⇒新月というサイクルを繰り返します。夜空に浮かぶ月は人類にとって常に神秘的な存在でした。狼男は満月の光を浴びると狼に変身します。

海の干潮・満潮は月の引力によって起こりますが、アマゾンの「ポロロッカ」は、高さ 3~4m の波が 12km の川幅一杯に時速 30~40 km の猛スピードで襲い掛かるもので、これは毎年 6 月の満月の日に起こります。

サンゴや海亀の産卵は満月の夜と決まっています。

(2) 生殖サイクルを司る月

人間の出産も月のサイクルに左右されることが分かりました。御茶の水女子大学教授の藤原正彦先生と奥様の筑波大付属盲学校講師の藤原美子先生のお二人が、陣痛促進剤などで出産を促すことのある大病院を除き、助産院だけで 12 年間 2,531 例を調べた結果、満月・新月とも、1 日前と三日後にピークとなり、全体の 15% となりました。1 日前に影響が激変し、三日後に影響の蓄積が最大となるようです。お二人は A.L.リーバー著『月の魔力』の訳者です。

『月の魔力』によると、1959 年、ウォルター・メナカーとアブラハム・メナカーという人が調べた結果、月経の周期は月齢とまったく同じ 29.5 日であり、25 万回の出産記録を調べたら、月齢の 9 ヶ月、265.8 日と一致したそうです。

(3) 兵庫県下の事故データ分析

暦は大きく分けて太陽暦、太陰暦、太陽太陰暦の三つがあり、太陽太陰暦は、朔(新月)から朔までを 1 ヶ月とするとともに、太陽年で調整して季節のズレがないようにしたものです。1 ヶ月の長さは月の満ち欠けの周期の 29.5 日あまり、1 年間は太陽暦より 11 日少ない 354 日、19 年に 7 回閏(うるう)月をもうけてズレを調整します。黒木氏は太陽太陰暦を基に、1982 年~1991 年の 10 年間の 295,000 件の人身事故データと死亡事故データ約 4 千件を分析しました。その結果が次頁左側の図です。人身事故は、上弦当日がピークとなり、下弦二日前が第二のピークとなりました。また、死亡事故は、新月前日と満月の三日前にピークを示しました。

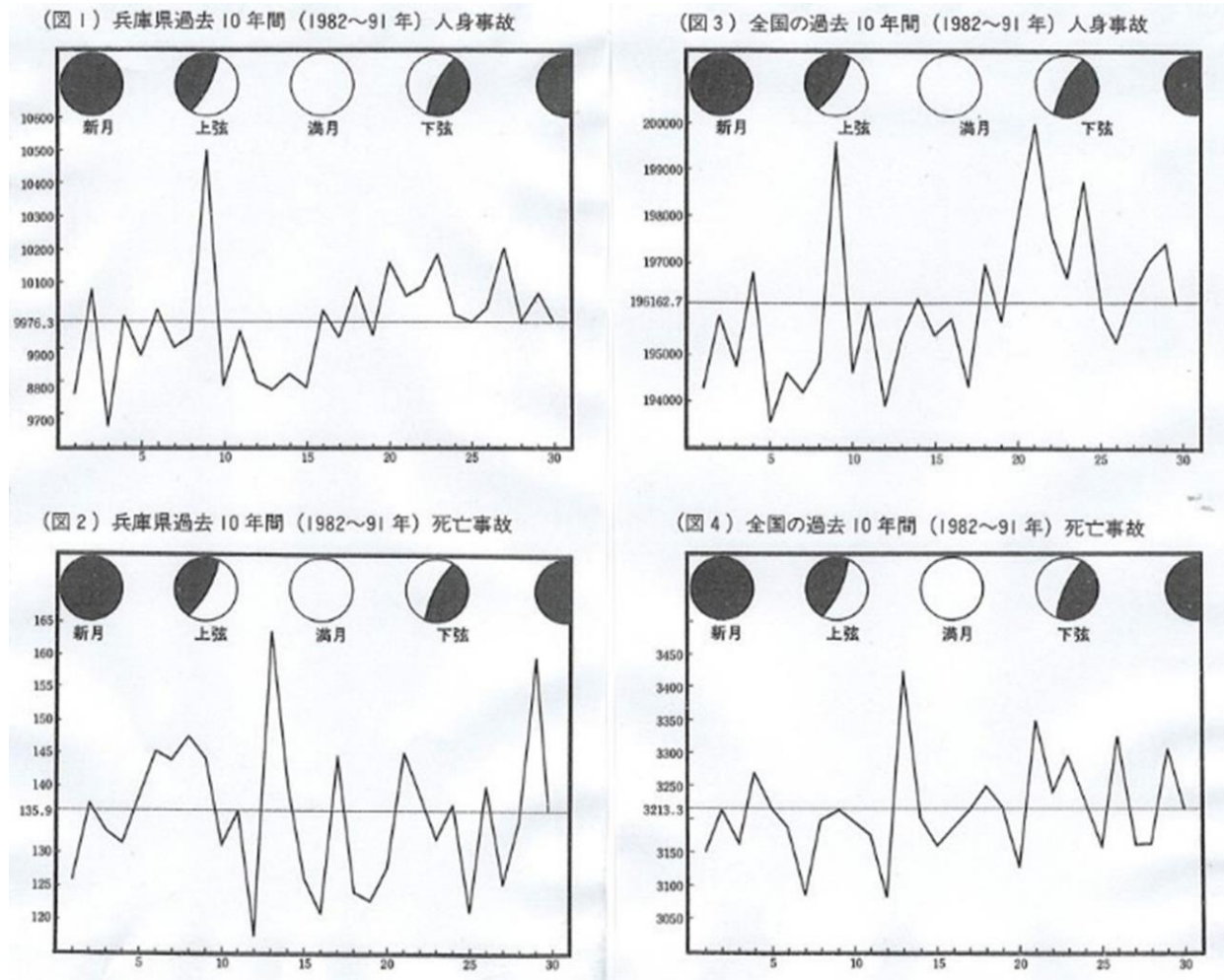
(4) 全国の事故データ分析

黒木氏はさらに、1982 年~1991 年の全国における 10 年間の人身事故約 580 万件、死亡事故約 94,700 件のデータを分析しました。その結果が次頁右側の図です。人身事故は、上弦当日と下弦二日前にピークがあり、二つ目のピークは兵庫県よりも高い値を示しました。しかし、死亡事故のほうは新月・満月のときだけでなく、下弦のときにもピークが認められました。いずれの図も、上が人身事故、下が死亡事故です。これらによって、交通事故の発生は、月の満ち欠けと深い関りがあるということが証明されたと黒木氏は書かれます。

(5) 交通事故の原因は月の引力のせいか

潮の干満は海の水が月の引力で引っ張られるために起こります。地球と月と太陽が一直線になると大潮となります。月と太陽の引力が合わさるからです。半月のときは打ち消し合って小潮となりま

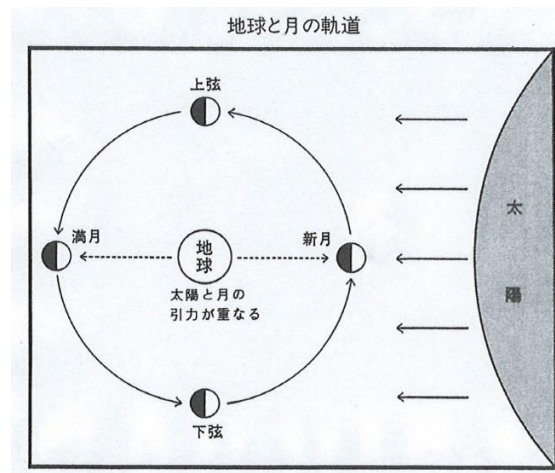
す。「人身事故はなぜ上弦・下弦の日に多いか？死亡事故はなぜ新月・満月の日に多いか？それは、月の引力のせいだ」と考えた黒木氏は、そういう著書を探しました。巡りあったのが、先に述べたA.L.リーバー著『月の魔力』でした。



1982~1991年(10年間)の人身事故・死亡事故件数と月齢の関係(左側兵庫県、右側全国)

フロリダ州マイアミの精神科医で、マイアミ市警察の精神医学コンサルタントのリーバー博士は「満月の夜には傷害事件や放火事件が倍近く増える」と聞いて調査し、それを確認しました。そして博士は「バイオタイド理論」を考え出しました。それは「地球の表面は80%の海と20%の陸から成っており、人体も80%が水分、20%が固体である。地球は月の引力で潮汐現象を起こしている。ならば、人体も月の引力の影響を受け、体内で潮汐現象が起きて不思議はない」というものです。

「バイオタイド」は「体内潮汐」と訳されているようです。



(6) 死亡事故は新月・満月のときに多い

黒木氏はこの段階で以下の二つの事実を確認しました。

- ① 月の引力は新月・満月時に強まり、上弦・下弦時に弱まる。これは宇宙物理学的で証明されている周知の事実である。
- ② 死亡事故は新月・満月時に多く、人身事故は上弦・下弦時に多い。これは自分自身が統計で証明した事実である。

リーバー博士は「引力の強弱によって体内の水分バランスが崩れる。引力が強い新月・満月時には体内の緊張感が高まる」と説明します。しかし、上弦・下弦時には説明がなく、黒木氏が出した結論が「上弦・下弦時には緊張が緩むだろう。この人間の体の緊張状態の違いこそが、死亡事故と人身事故の違いになって現れる」という推論です。

① 「暴走型」事故のケース

緊張状態が高まると、イライラ感情も募って人間が攻撃的になる。このため、信号無視やスピードの出し過ぎなど、死亡事故につながるような無謀運転が誘発される。ゆえに、月の引力が強い新月・満月時に暴走型の事故が多い。

② 「うっかり型」事故のケース

緊張状態が緩むと、精神的にも弛緩して注意力が散漫となる。このため、うっかり運転による人身事故が多発する。ゆえに、月の引力が弱まる上弦・下弦時にうっかり型の事故が多い。

黒木氏が現場で気付いたことは、「上弦・下弦時には、件数は多いものの大事故に至らない場合が多い。逆に新月・満月時には、事故件数は少ないものの死亡事故は極端に多い」ことです。

■ 大事故と月齢の記録

黒木氏の研究意欲は並大抵のものではありません。過去に発生した大事故と月齢の関係を調べました。この中には、うっかり型の事故も多く含まれています。当時まだ生まれていなかった方には実感が湧かないと思いますが・・・。

(1) 交通事故篇

比叡山転落事故(60.7.24 新月当日)、赤木圭一郎激突事故(61.2.14 下弦二日後)、西宮タンクローリー爆発炎上事故(65.10.26 新月二日後)、飛騨川バス転落事故(68.8.18 下弦二日後)、東名高速玉突き事故(72.2.1 満月二日後)、戸隠高原バス転落事故(72.9.23 満月当日)、名神高速連続事故(72.12.5 新月前日)、葛飾ダンプ事故(78.9.27 下弦三日後)、日本坂トンネル玉突き炎上事故(79.7.11 満月翌日)、笹平ダム・スキーバス転落事故(85.1.28 上弦翌日)、中央自動車道バス転落事故(85.10.5 下弦二日前)、広島新交通システム橋桁落下事故(91.3.14 新月二日前)。

(2) 鉄道事故篇

常磐線三河島事故(62.5.3 新月三日前)、東海道本線鶴見事故(63.11.9 下弦翌日)、越谷トンネル・篠ノ井駅正面衝突事故(71.10.25 上弦二日前)、国電船橋駅事故(72.3.28 満月二日前)、北陸トンネル火災(72.11.6 新月当日)、山陽本線西明石事故(84.10.19 下弦翌日)、余部(あまるべ)鉄道転落事故(86.12.28 満月二日後)、信楽(しがらき)高原鉄道事故(91.5.14 新月当日)。

(3) 航空機・船舶事故篇

東京湾、羽田、富士山墜落事故(66.2.4 満月二日前、3.4 満月二日前、3.5 満月前日)、全日空

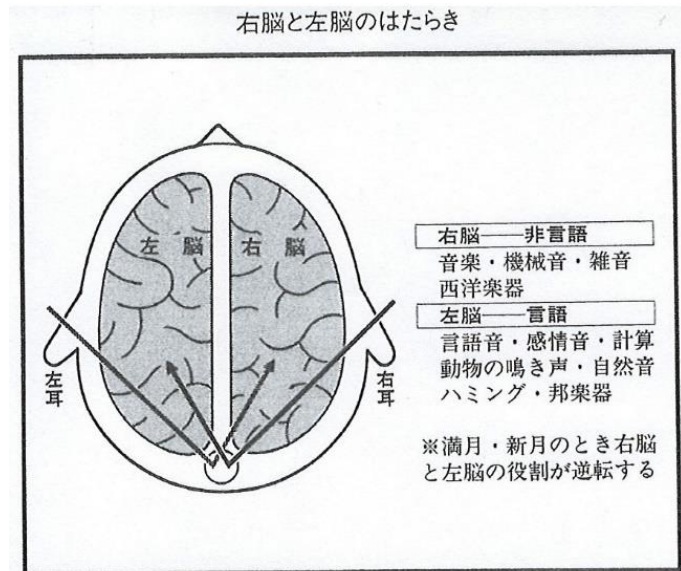
機松山空港沖墜落事故(66.11.13 下弦三日前)、「ぼりばあ丸」沈没事故(69.1.5 満月翌日)、「ばんだい号」激突事故(71.7.3 上弦二日後)、全日空機・自衛隊機零石衝突事故(71.7.30 上弦当日)、日航機ニューデリー墜落事故(72.6.14 新月三日後)、日航機モスクワ事故(72.11.29 下弦翌日)、「第十雄洋丸」衝突炎上事故(74.11.9 満月翌日)、日航機羽田沖墜落事故(82.2.9 満月翌日)、「ブルーインパルス」墜落事故(82.11.14 新月二日前)、串木野渡し船転覆事故(85.3.31 上弦翌日)、御巢鷹山ジャンボ機墜落事故(85.8.12 下弦三日後)、浦賀水道潜水艦衝突事故(88.7.23 上弦翌日)、花博ウォーターライド事故(90.4.2 上弦当日)、日向市ヘリコプター墜落事故(90.9.27 上弦当日)。

■ なぜ月が人間を狂わせるのか

(1) 脳の働きを左右逆転させる月

人間の脳は左右の役割に違いがあります。右脳は感情的・直観的思考を受け持ち、左脳は理論的・分析的思考を受け持ちます。どちらの働きが強いかによって、感情的人間(右脳人間)か論理的人間(左脳人間)になります。

ところで、音声情報(音や音楽)は、左脳関係は右耳、右脳関係は左耳から入ってくることが多いそうです。つまり、理に訴える情報(言語など)は右耳から、情に働きかける情報(音楽など)は左耳からです。



ところが、東京医科歯科大学名誉教授・角田忠信博士の実験によりますと、新月・満月の日には、これが逆転するそうです。そうすると、従来なら特に意味がないと思えた言葉が一転、特別な意味合いを帯びてくる事態も考えられます。価値判断の基準が変わると、それに伴う行動が変わっても不思議はありません。ただしこの原因は解明されていないそうです。

特定医療法人北勢会北勢病院の佐藤治美医師の実験によると、満潮時は干潮時に比べて白血球の数が増加し、特にリンパ球は著しい増加を示すそうです。

(2) 満月の夜に殺人事件が多発する

「満月の夜には傷害事件や放火事件が倍近く増える」という警察署や消防署の報告を聞いたリーバー博士が、フロリダ州デイド郡及びオハイオ州チュヤホガ郡で行った調査では、デイド郡において満月の夜に殺人事件がピークを示しました(次頁右図)。

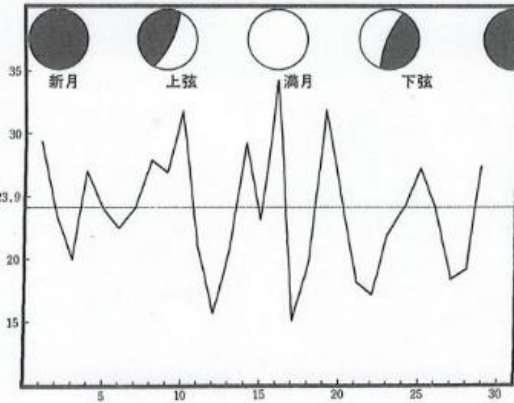
そこで黒木氏は1982年～1991年の兵庫県における10年間の殺人事件704件を調べました。すると次頁左図のように、平均23.9件に対し、満月の日は34件とピークを形成していたのです。

黒木氏は、様々な事件を観察した結果、以下のように結論付けました。

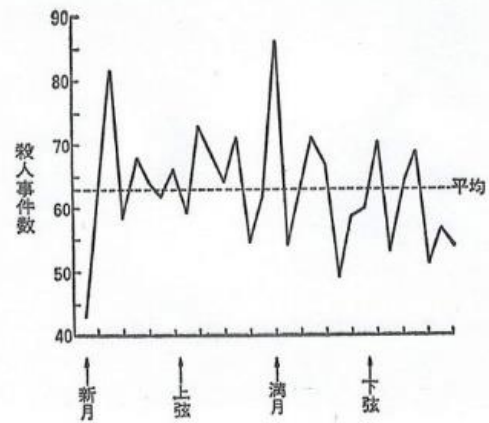
- ① 新月・満月時には突発的犯行が起こるケースが多い。
- ② 上弦・下弦時には計画的犯行が起こるケースが多い。

②の場合は非常にリラックスした状態になり、今までは一つしか見えなかったものが、幹から枝分かれしたように二つや三つに見えてくるので、計画的犯行が起きやすいそうです。

(図5) 兵庫県過去10年間(1982~91年)殺人事件



(図6) 月齢と殺人事件数 [「月の魔力」より]



おわりに

黒木氏はそのほか、過去に発生した世界中の事件・事故と月齢の関係を上げていますが、書ききれませんので省略します。

氏はまた、地震の発生メカニズムについても研究され、地震は月の引力と太陽エネルギーの相乗効果で引き起こされ、「地震は、太陽黒点が少なく、かつ半月・満月(新月)期に発生しやすい」と結論付けておられます。これも詳細に触れると長くなりますので省略します。

最終章では、個人ごとに体調をメモすることで、月齢と自分の注意日が分かるようになるかと書かれています。

巻末に1950年から2020年までの月齢表が載っていましたので、関係部分を付記します。

月による影響の強さは、個人ごとに差があるようですが、冒頭のカレンダーや右の月齢表を参考にして事故防止に努めて下さい。

月 齢 表

日本時

朔(新月)				上 弦				望(満月)				下 弦			
月	日	時	分	月	日	時	分	月	日	時	分	月	日	時	分
2018															
1	17	11	17	1	25	7	20	1	2	11	24	1	9	7	25
2	16	6	5	2	23	17	9	1	31	22	27	2	8	0	54
3	17	22	11	3	25	0	35	3	31	21	37	3	9	20	20
4	16	10	57	4	23	6	45	4	30	9	58	4	8	16	17
5	15	20	48	5	22	12	49	5	29	23	19	5	7	3	32
6	14	4	43	6	20	19	51	6	28	13	53	6	6	16	51
7	13	11	48	7	20	4	52	7	28	5	20	7	5	3	18
8	11	18	58	8	18	16	48	8	26	20	56	8	3	11	37
9	10	3	1	9	17	8	15	9	25	11	52	9	2	18	45
10	9	12	47	10	17	3	2	10	25	1	45	10	1	1	40
11	8	1	2	11	15	23	54	11	23	14	39	11	30	9	19
12	7	16	20	12	15	20	49	12	23	2	48	12	29	18	34
2019															
1	6	10	28	1	14	15	45	1	21	14	16	1	28	6	10
2	5	6	3	2	13	7	26	2	20	0	53	2	26	20	28
3	7	1	4	3	14	19	27	3	21	10	43	3	28	13	10
4	5	17	50	4	13	4	6	4	19	20	12	4	27	7	18
5	5	7	45	5	12	10	12	5	19	6	11	5	27	1	33
6	3	19	2	6	10	14	59	6	17	17	31	6	25	18	46
7	3	4	16	7	9	19	55	7	17	6	38	7	25	10	18
8	1	12	12	8	8	2	31	8	15	21	29	8	23	23	56
8	30	19	37	9	6	12	10	9	14	13	33	9	22	11	41
9	29	3	26	10	6	1	47	10	14	6	8	10	21	21	39
10	28	12	38	11	4	19	23	11	12	22	34	11	20	6	11
11	27	0	5	12	4	15	58	12	12	14	12	12	19	13	57
12	26	14	13												
2020															
1	25	6	42	1	3	13	45	1	11	4	21	1	17	21	58
2	24	0	32	2	2	10	42	2	9	16	33	2	16	7	17
3	24	18	28	3	3	4	57	3	10	2	48	3	16	18	34
4	23	11	26	4	1	19	21	4	8	11	35	4	15	7	56
5	23	2	39	5	1	5	38	5	7	19	45	5	14	23	3
6	21	15	41	5	30	12	30	6	6	4	12	6	13	15	24
7	21	2	33	6	28	17	16	7	5	13	44	7	13	8	29
8	19	11	42	7	27	21	32	8	4	0	59	8	12	1	45
9	17	20	0	8	26	2	57	9	2	14	22	9	10	18	26
10	17	4	31	9	24	10	55	10	2	6	5	10	10	9	39
11	15	14	7	10	23	22	23	10	31	23	49	11	8	22	46
12	15	1	16	11	22	13	45	11	30	18	30	12	8	9	36
				12	22	8	41	12	30	12	2				

以 上